

令和6年度 学校経営計画書

学校番号	49	学校名	静岡県立島田高等学校	校長名	後藤 昇太
------	----	-----	------------	-----	-------

1 スクール・ミッション

専門的な学びのための高等教育に備える志檜地域の高校として、良き伝統、校風を継承発展させ、主体的な授業、充実した課外活動、学校行事を通して、新たな社会の形成者としての高い知性、豊かな感性、健やかな心身、多様な国際感覚を備え、地域社会に貢献できる人材の育成を目指す。

2 目指す学校像

(1) スクール・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	カリキュラム・ポリシー	アドミッション・ポリシー
○現代社会を主体的に生き抜く逞しさを持った生徒 ○新たな社会の形成者として、高い知性、豊かな感性、健やかな心身を備え、将来、地域社会に貢献できる生徒 ○校訓、「希望」「友情」「努力」のもと、こころざしのあり方、人としての生き方、社会貢献への使命感を自らに問いかけながら学業に取り組む生徒	○生徒の高いこころざしを育成して希望する進路の実現を図るために、ICTを利活用しながら授業外学習と連動した質の高い授業を創造する ○「人として正しく生きる」ために自立した生活態度の育成を図り、多様な価値観に対応した規範意識を涵養する ○豊かな人間性、国際感覚、他者との良好な関係づくりとソーシャルリテラシーを備え、現代社会で逞しく生き抜く力を養う	○高いこころざしをもち、自ら学び、向上しようとする生徒 ○出会いを大切に、互いに信頼関係を築き、人としての生き方を追求する生徒 ○夢や目標の実現を目指し、自分を磨き、挑戦する生徒

(2) スクール・ポリシー具現化の柱

- ア 進路実現のための授業改善と基礎基本の定着
- イ 基本的な生活習慣の確立と規範意識の涵養
- ウ 主体的に生きる力と社会的リテラシーの育成
- エ 学習・教育環境の整備と地域の信頼を担う学校づくり
- オ 広報活動の充実と中高・高大連携の推進

3 本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	達成方法 (取組手段)	成果目標	担当部署
ア	生徒の高いこころざしを育成し希望する進路の実現を図るために、ICTを利活用しながら授業外学習と連	・基本的な学習習慣を確立し、ICTも利活用しながら主体的、協働的な学びを実現する ・「学びの基礎診断」や「到達度テスト」の結果を踏まえて目標達成までの道りを具体化させ、高いこころざしを育成する	・学習活動に積極的に取り組み、日々の学習習慣が身に付いたと感じる生徒70%以上 ・学習の成果を把握、分析し、目標達成に向けての意欲が高まったと感じる生徒70%以上	教務

様式第1号

	動した質の高い授業を創造する。	<ul style="list-style-type: none"> ・「主体的・対話的で深い学び」と、生徒の自己肯定感の向上を実現するための学習評価につながる授業改善を、教員相互の学び合いによって進める ・ICTの活用例や方法を教職員に周知する 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業への主体的な取り組みにより、自己肯定感が高まった生徒80%以上 ・職員相互の授業見学を通じて授業改善につながった教員70%以上 ・教科内でICT活用研修を実施し、授業改善につながった教員70%以上 	研修
		<ul style="list-style-type: none"> ・3年間を見通した進路指導計画を策定し、生徒自ら進路実現を果たす ・生徒、保護者、教員が有機的に繋がり、生徒が主体的に進路選択をできるように、時機を得た情報提供をする 	<ul style="list-style-type: none"> ・放課後補講、土曜補講に意欲的に参加し、知識や思考力、判断力が身に付いた生徒80%以上 ・夢応援プロジェクトや探究学習に主体的に取り組む、進路について深く考えることができた生徒80%以上 ・しまこう学問探究ナビで学問への興味関心が高まった生徒80%以上 ・保護者進路講座により、子どもの進路に対する関心が高まった保護者80%以上 	進路
		<ul style="list-style-type: none"> ・生徒との個別面談を通して個々の適性に応じた指導を行う ・放課後補講、土曜補講を計画的に実施する 	<ul style="list-style-type: none"> ・個別面談を年間5回以上実施し、進路実現に役立った生徒80%以上 ・放課後補講、土曜補講に意欲的に参加し、知識や思考力、判断力が身に付いた生徒80%以上 	3年部
		<ul style="list-style-type: none"> ・学習環境の整備を促して家庭学習の習慣を定着させる ・HR活動・総合的な探究の時間、学年通信・進路通信等を活用して進路情報を適切に提供する ・修学旅行および事前・事後研修を通じて幅広い視野を育てる 	<ul style="list-style-type: none"> ・1週間の学習時間の合計が14時間以上達成生徒70%以上 ・進路情報を的確に捉え、自らのキャリア形成につながった生徒80%以上 ・学年通信発行年間12回以上 ・修学旅行を通して視野が広がったと感じる生徒80%以上 	2年部
		<ul style="list-style-type: none"> ・学習環境の整備を促して家庭学習の習慣を定着させる ・HR活動・総合的な探求の時間、学年通信・進路通信等を活用して進路情報を適切に提供する 	<ul style="list-style-type: none"> ・1日平均1.5時間以上の学習達成生徒70%以上 ・進路情報を的確に捉え、自らのキャリア形成につながった生徒70%以上 ・学年通信発行年間10回以上 	1年部
イ	人として正しく生きるために、自律した生活態度の育成を図り、多様な価値観に対応した規範意識を涵養する。	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な生活習慣を確立し、自律的な生活態度の育成を図る ・HR活動、生徒会活動、委員会活動、部活動、学校行事、校外活動等への積極的な参加を促す ・落ち着いた学校生活を送るために、余裕ある登校を指導する 	<ul style="list-style-type: none"> ・校内外において気持ちの良い挨拶ができる生徒80%以上 ・学校や社会、交通マナーを守り、自他の安全を確保できた生徒80%以上 ・六月祭など学校行事に主体的に取り組む生徒90%以上 ・規則正しい生活により、8:20着席が実現できる生徒100% 	生徒
		<ul style="list-style-type: none"> ・日常的な生徒指導の中で規範意識を醸成する 	<ul style="list-style-type: none"> ・高校生活が充実していたと回答する生徒80%以上 	3年部

様式第1号

		<ul style="list-style-type: none"> ・日常的な生徒指導の中で規範意識を醸成する 	<ul style="list-style-type: none"> ・高校生活が充実していると回答する生徒 80%以上 	2年部
		<ul style="list-style-type: none"> ・日常的な生徒指導の中で規範意識を醸成する ・今後の生き方・在り方を考える契機として保育体験実習を実施する ・舞台芸術への導入として演劇教室を実施する 	<ul style="list-style-type: none"> ・高校生活が充実していると回答する生徒 80%以上 ・保育体験学習によりコミュニケーション能力が高まった生徒 70%以上 ・演劇教室に参加した生徒の満足度 70%以上 	1年部
ウ	豊かな人間性、国際感覚、他者との良好な関係づくりを身につけ、現代社会で逞しく生き抜く力を養う	<ul style="list-style-type: none"> ・学校行事、ホームルーム活動、生徒会活動、部活動やボランティア活動等に積極的に取り組ませる 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校行事等を通して、チーム志向や協力の大切さを実感する生徒 90%以上 ・部活動の目標を達成できるように努力した生徒 90%以上 ・ボランティア活動を通して共感力を実感した生徒 80%以上 	生徒
		<ul style="list-style-type: none"> ・連続して欠席をした生徒に対して早期に適切な面談を行う ・ケース会議を開いて組織的対応を図る 	<ul style="list-style-type: none"> ・校内に相談できる相手がいる生徒 90%以上 	保健
		<ul style="list-style-type: none"> ・読書を通して豊かな教養、感性を養う 	<ul style="list-style-type: none"> ・読書を通して、読解力や文章表現力が高まり、価値の創造に影響があった生徒 70%以上 	図書
エ	適正かつ効率的な予算執行による学習・教育環境の整備や、地域・関係外郭団体との協働により安全で安心な学校づくりを目指す	<ul style="list-style-type: none"> ・東南海地震に対する防災意識を高め、自分の身を守るだけでなく、地域で果たすべき役割を自覚させる 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域防災訓練へ参加することで地域との連携など自発的な行動が必要であると回答する生徒 70%以上 	総務
		<ul style="list-style-type: none"> ・業務改善案に基づき、業務の効率化・平準化・適正化を推進する 	<ul style="list-style-type: none"> ・業務の効率化・平準化・適正化が図られたと回答する職員 70%以上、職員室の最終退出時間 20 時 15 分以内 	管理職
		<ul style="list-style-type: none"> ・施設・設備に起因した事故の発生を防止するため、日常的な巡回や職員安全衛生委員会等から情報収集を行う ・経済面での安心を提供するため、家庭の経済的負担を軽減する制度を周知する ・静岡県の通常予算に加え、関係外郭団体予算を積極的に活用する 	<ul style="list-style-type: none"> ・施設、設備に起因した校内事故の発生件数 0 ・申請書類の期限内提出率 95%以上、差戻し率 5 %未滿 ・学校経営予算の執行率 99.5%以上、外郭団体の予算執行残額 25 万円未滿 	事務部
オ	丁寧な生徒指導・進学指導を垂範する進学校として教育活動・教育実践を的確に	<ul style="list-style-type: none"> ・管理職、主管分掌（教務、総務、進路）と連携して本校の教育活動の魅力中学校や地域へ広く発信する ・担当者による複数回訪問を実現し中学校との関係性を築く 	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページ更新年間 150 回以上、インスタ投稿 1 日 1 回以上、中学校向け進路通信年間 12 回以上、中学校校訪問年間 2 回以上により、令和 7 年度入学者選抜の定員を充足する。 	広報

様式第1号

	<p>発信するとともに、連携接続のための情報収集・情報交換を密にする</p>	<p>・学校ホームページや一斉配信システム等を活用し、生徒の状況や活動、感染症や災害対応等をわかりやすく適時に配信することで、保護者や地域との連携を深める</p>	<p>・学校からの配信等により、学校の様子を知ることができ、学校の教育活動への関心が高まった保護者75%以上。</p>	<p>管理職</p>
--	--	---	---	------------